

パブリックコメント実施結果について

第5期阿賀野市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の変更計画(案)について、意見募集を行った結果、8名の方からご意見をいただきました。

今回いただいたご意見の概要と、これに対する市の考え方を公表します。

案件名

第5期阿賀野市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の変更計画(案)について

募集期間

平成25年12月9日(月)から平成25年12月27日(金)まで

募集方法

ホームページと広報あがのお知らせ版に掲載し、意見を募集しました。

提出人数及び提出方法

提出方法	提出人数
窓口	4
電子メール	2
郵送	1
ファックス	1

提出いただいた意見の概要	市の考え方
<p>1. 旧安田高校の近くで、ギャラリーとカフェを営んでおり、毎日お年寄りの方が、楽しみにして来られ、接してわかったことは、一人にならないよう、病気にならないよう、すべてに予防が第一かと思う。</p> <p>2. 環境の面からも大きな建物があるだけで地域の活気を失い、夕方になると車で通るだけでも怖い感じがする。</p> <p>3. 人が集える予防の場として、また地場産業、職人の研修会場等の施設として、地域のために提供してほしく、一日も早い実現を願いたい。</p>	<p>1. 市では介護予防対策として、元気づくり教室や認知症予防事業等を実施しており、一層の推進に努めます。</p> <p>2.3. 特別養護老人ホームの開設場所は、市が指定するのではなく、開設事業者の提案により選定したいと考えています。 開設事業者は、プロポーザル(企画提案)方式による公募で選定しますが、公募条件には箇所数、床数、部屋の類型などを指定するものの、開設場所は指定しません。</p>

<p>1.中学生サッカーチームのキャプテンをやっており、旧安田高校グラウンドを使わせてもらっている。特養ホームの建設後も今までどおり利用させて欲しい。そして、雨や雪の日は体育館も使わせて欲しい。父や母から特養ホームに入れない順番待ち人がいると聞き、困っている人のために早く施設ができたらいいと思う。施設ができたらチーム全員でボランティア活動をし、交流を深めたい。是非僕たちにグラウンドや体育館を使わせてくれる理解のある会社を作ってほしいと思っている。</p>	<p>1. 特別養護老人ホームの開設場所は、市が指定するのではなく、開設事業者の提案により選定したいと考えています。 開設事業者は、プロポーザル（企画提案）方式による公募で選定しますが、公募条件には箇所数、床数、部屋の類型などを指定するものの、開設場所は指定しません。</p>
<p>1.高齢化社会が進行している現状であり早期の実現を希望する。 ただ、170床の施設という暗いイメージが先行するので、それを払拭し、かつ他のモデルケースになるような多目的な施設にしてもらいたい。場所としては旧安田高校が適所ではないか。（保育施設の併設により子供たちと交流が図られる。 2 高台にあるため災害時の避難場所として活用できる。</p>	<p>1.2.本計画（案）により早急に整備を進めます。 特別養護老人ホームの開設場所は、市が指定するのではなく、開設事業者の提案により選定したいと考えています。 開設事業者は、プロポーザル（企画提案）方式による公募で選定しますが、公募条件には箇所数、床数、部屋の類型などを指定するものの、開設場所は指定しません。</p>

<p>1. 調査時点で要介護 3 以上の在宅者が 178 名おり、早急に 170 名の受け入れが可能な施設が必要と思う。今回の計画において入所可能時期が平成 27 年 4 月以降ということであれば、現在要介護 1.2 の人たちも今後介護度が上がることは十分考えられ、第 6 期計画においても相当の施設(ベッド数)の確保が必要と考える。</p> <p>2. ほとんどの施設において個室が主であり、大部屋より相当割高であると思われ、国民年金受給額に少し足した程度で入居可能な施設の建設を希望する。</p> <p>3. 特別養護老人ホーム 170 床整備された場合の影響について、介護保険料 363 円/月の上昇は今回の施設整備を行うについては許容できる範囲内と思います。大部屋にした場合上昇額が 230 円/月であれば、170 床の内 3 割程度のベッド数を確保すれば保険料の上昇は少し抑えられると思う。</p>	<p>1. 本計画（案）により早急に整備を進めます。</p> <p>2.3. ユニット型個室はプライバシーの確保や感染症の予防効果が見込めるなどのメリットがあるものの、現行の制度では入所費用が多床室より高いことから、入所費用の軽減を図るためには多床室の整備も有効と考えています。</p> <p>今後、開設事業者の選定の際、公募条件で部屋の類型を指定します。</p>
<p>1. 現状では入所希望待機者の中には 4 年も待っている人もいる。一人暮らししか重度な認知症以外、入所できない状況で最初から申し込んでいない者もいると聞く。介護する人も老人が大半で、その人達が安心して暮らせるよう、要介護 3 以上 170 名全員が入居できる施設を早急に増設されることを要望する。</p> <p>2. 現在は快適な施設として各個室で整備されているが、少ない経費で多くのサービスを提供するには数人が入れる大部屋があってもよいと考える。安価であれば 1 室 2～4 名の部</p>	<p>1. 本計画（案）により早急に整備を進めます。</p> <p>2.3. ユニット型個室はプライバシーの確保や感染症の予防効果が見込めるなどのメリットがあるものの、現行の制度では入所費用が多床室より高いことから、入所費用の軽減を図るためには多床室の整備も有効と考えています。</p>

	<p>屋が 30%くらいあってもよいと思う。</p> <p>3. 特養ホーム以外は個人負担が高額で生活苦につながることから、入所できない現状が多く、せめて国民年金受給程度で利用可能であれば大変助かる。しかし、より良いサービスを受けるには入所者の個人負担額や介護保険料の多少の負担増は当然だと考える。</p>	<p>今後、開設事業者の選定の際、公募条件で部屋の類型を指定します。</p>
	<p>1. 家族や本人が施設入所を希望する待機者のためにも 1 施設、170 名入所施設の早期実現可能な事業所の選定願いたい。今風の個室ばかりでなく大部屋で複数の方が利用でき、そこでコミュニケーションがとれたらなお良いと思う。国民年金受給者でも利用可能な施設であることもお願いしたい。</p>	<p>1. 本計画(案)により早急に整備を進めます。ユニット型個室はプライバシーの確保や感染症の予防効果が見込めるなどのメリットがあるものの、現行の制度では入所費用が多床室より高いことから、入所費用の軽減を図るためには多床室の整備も有効と考えています。</p> <p>今後、開設事業者の選定の際、公募条件で箇所数、床数、部屋の類型を指定します。</p>
	<p>1. 阿賀野市の高齢化率の推移、特養ホームの待機者の数等見ても、その建設には賛同する。早期に取り掛かってほしいと切に願う。ただ、その計画策定にあたり計画変更の理由の中に、「最後の砦」となる...なんて思わないでほしい。今まで私たちの生活守り、ささえてきてくれた高齢者の方々には、尊敬の念を忘れてはならないと思います。最後はそこで面倒を見てもらえればなんて考え方はやめてほしい。</p> <p>昨今保育所併設の施設が建設され、お年寄りと小さな子供たちの交流が、お年寄りたちの生きがいを生み、また、子供たちにとってもお年寄りをいたわる優しい心や</p>	<p>1. 本計画(案)により早急に整備を進めます。「最後の砦」の表記については、特別養護老人ホームをセイフティネットの役割の意味合いから用いました。心証を害されたことに対し、お詫び申し上げます。</p> <p>保育所等の併設施設については、市が指定するのではなく、開設事業者の提案があれば検討したいと考えています。</p> <p>開設事業者は、プロポーザル方式による公募で選定しますが、市は公募条件で箇所数、床数、部屋の類型などは指定するものの、併設施設は指定しません。</p> <p>雇用については、公募の際、阿賀野市在住者を優先していただくよう要請したいと考えています。</p>

	<p>お年寄りの知恵を学ぶ良い環境づくりに役立っていると聞いている。そんな施設が阿賀野市にもできたら何て素晴らしいことだろうと思う。さらに、いろいろな人達が入りし、お年寄りたちを寂しくさせない関わりができたらもっと素敵だと思う。その施設内で障害者の授産施設や地域のお茶の間も開催されれば入所者との関わりもひろがると思う。以上、どこにもでもある施設とは違ったお年寄りが生き生きと過ごせる施設建設を望む。</p> <p>雇用はぜひ、市内から</p>	
	<p>1. この度の計画案について、施設運営を預かる者の意見を述べさせてもらいます。特別養護老人ホームの増床については、反対の意見ではないが、特養に入所希望され、入所検討会で承認された方の中には待機或いは辞退される方もあり、170 室分の施設づくりには、阿賀野市の入所状況を踏まえると、如何なものかと思っている。</p> <p>医療やリハビリなどを必要とされる方が緩和病棟や緩和医療等を受けられるよう、人として生まれ、人として生きつづけるサポート体制にも、市として考慮していく必要があるのではないか。</p> <p>170 人分の用意はもう一度熟慮する検討が必要かと思う。介護保険計画の見直しでは現在運営している阿賀野市特養に 20～30 床の増床 100 床とし、様子を見、将来に備えていくことも 1 案で</p>	<p>1. 170 床規模を再考したらどうかについては、現在の申し込み待機者数の状況や今後の高齢化の推移を考慮すると 170 床の整備は必要と考えています。</p> <p>医療やリハビリを必要な方へのサポート体制の必要性については、必要性を認識しており、地域包括ケアシステム体制の構築に努め、医療、介護、看護等の連携を図ります。</p>

	<p>はないか。</p> <p>2. 国では在宅へのサポートを重要視しており、24 時間居宅介護訪問介護、看護、医療体制づくりを推進しているので、阿賀野市として是非取組みしていただきたい。</p>	<p>2. 在宅サポートについては、地域包括ケアシステムの構築に努め、医療、介護、看護等の連携を図ります。</p>
--	--	---